

5 ごみ・資源

(1) 処理状況

ア 収集量・持込量の年度別実績

単位 [t]

区 分		平成30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2 年度 (2020 年度)	令和3 年度 (2021 年度)	令和4 年度 (2022 年度)
①人口[人] (10月1日現在)		562,522	562,828	561,872	562,326	562,605
収 集 量	② 可 燃 ご み	83,295	83,691	84,999	83,012	80,501
	③ 不 燃 ご み	4,573	4,604	5,034	4,504	3,666
	④ 粗 大 ご み	2,282	2,586	2,981	2,653	2,830
	⑤ 有 害 ご み	345	352	373	357	358
	⑥ 資 源 物	30,933	31,379	32,959	32,584	32,044
	⑦ 不 法 投 棄 ご み	22	15	14	11	7
	⑧ 側 溝 清 掃 ご み	119	80	83	101	81
	計	121,569	122,707	126,443	123,222	119,487
持 込 量	⑨ 事 業 系 可 燃 ご み	25,121	26,478	22,386	22,012	22,061
	⑩ 家 庭 系 可 燃 ご み	1,787	1,501	1,613	1,528	1,050
	⑪ 家 庭 系 不 燃 ご み	772	622	650	631	533
	⑫ 抛 点 資 源 物	436	404	481	475	466
	計	28,116	29,005	25,130	24,646	24,110
合 計		149,685	151,712	151,573	147,868	143,597
資 源 集 団 回 収 量		7,301	6,926	5,961	5,702	5,647
総 ご み 量		156,986	158,638	157,534	153,570	149,244

単位 [g/(人・日)]

原 単 位 (収 集 量 ま た は 持 込 量 / ①/ 3 6 5 日 ま た は 3 6 6 日)	収 集 量	可 燃 ご み	406	406	414	404	392
		不 燃 ご み	22	22	25	22	18
		粗 大 ご み	11	13	14	13	14
		有 害 ご み	2	2	2	2	2
		資 源 物	150	152	161	159	156
		不 法 投 棄 ・ 側 溝 清 掃	1	1	1	1	0
		計	592	596	617	601	582
	持 込 量	事 業 系 可 燃 ご み	122	129	109	107	107
		家 庭 系 可 燃 ご み	9	7	8	7	5
		家 庭 系 不 燃 ご み	4	3	3	3	3
		抛 点 資 源 物	2	2	2	2	2
		計	137	141	122	119	117
	合 計		729	737	739	720	699
	資 源 集 団 回 収 量		36	33	29	28	28
	総 ご み 量		765	770	768	748	727

※人口には外国人登録者数を含む。

※上記とは別に、令和元年東日本台風で発生した災害廃棄物（災害等廃棄物処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったもの）を以下のとおり処理している。

令和元年度（2019年度）：市内 345t、栃木県鹿沼市 141t、宮城県大崎市 81t

令和2年度（2020年度）：市内 159t、宮城県大崎市 200t

※令和3年度（2021年度）は、上記とは別に町田市の不燃ごみ 91t を応援処理している。

イ 資源物の戸別回収状況

単位 [t]

区 分		平成30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2 年度 (2020 年度)	令和3 年度 (2021 年度)	令和4 年度 (2022年度)
古 紙	新 聞	1,452	1,439	1,364	1,433	1,146
	ダ ン ボ ー ル	4,186	4,439	5,382	5,454	5,381
	雑 誌 ・ 雑 紙	9,164	9,208	9,142	8,505	8,065
	紙 パ ッ ク	115	112	122	124	233
	計	14,917	15,198	16,010	15,516	14,825
	空 き び ん	4,057	3,936	4,147	4,041	3,860
	空 き 缶	1,394	1,417	1,546	1,513	1,442
	古 着 ・ 古 布	2,463	2,622	2,693	2,839	2,719
	パ ッ ト ボ ト ル	2,059	2,074	2,148	2,222	2,227
	容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク	6,025	6,107	6,414	6,419	6,284
	木 の 枝	18	25	1	34	683
	生 ご み	—	—	—	—	4
	合 計 ⑥	30,933	31,379	32,959	32,584	32,044

ウ 資源物の拠点回収状況

単位 [t]

区 分	平成30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2 年度 (2020 年度)	令和3 年度 (2021 年度)	令和4 年度 (2022 年度)
新 聞	15	9	9	10	18
ダ ン ボ ー ル	136	129	173	189	172
雑 誌 ・ 雑 紙	281	262	295	274	274
紙 パ ッ ク	1	1	(0.5 未満)	(0.5 未満)	(0.5 未満)
は が き	3	3	3	—	—
上 履 き ・ 靴	(0.5 未満)	(0.5 未満)	1	2	2
計 ⑫	436	404	481	475	466

※雑誌・雑紙にはシュレッダー紙を含む。

※0.5 未満の実績について、紙パックは、令和2年度(2020年度):270kg、令和3年度(2021年度):230kg、令和4年度(2022年度):340kg、上履き・靴は、平成30年度(2018年度):280kg、令和元年度(2019年度):330kgとなっている。

エ 資源集団回収状況

単位 [t]

区 分	平成30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2 年度 (2020 年度)	令和3 年度 (2021 年度)	令和4 年度 (2022 年度)
新 聞	2,688	2,358	1,784	1,761	1,696
ダ ン ボ ー ル	1,388	1,367	1,389	1,382	1,376
雑 誌 ・ 雑 紙	2,501	2,450	2,230	2,071	2,071
紙 パ ッ ク	81	80	81	76	76
生 き び ん	6	5	5	4	4
雑 び ん	55	55	52	50	49
ス チ ー ル 缶	41	40	37	33	31
ア ル ミ 缶	168	173	175	171	169
古 着 ・ 古 布	365	391	199	152	173
金 属 く ず	8	7	9	2	2
計	7,301	6,926	5,961	5,702	5,647
補 助 金 額 [円]	57,170,374	54,625,437	47,838,601	45,804,322	45,338,654
団 体 数 [団体]	389	389	356	353	348

オ 資源化量の年度別実績

単位 [kg]

区 分		平成30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2 年度 (2020 年度)	令和3 年度 (2021 年度)	令和4 年度 (2022 年度)		
⑬ 資源物資源化量	収集	新聞	1,451,820	1,439,100	1,364,500	1,433,070	1,146,130	
		ダンボール	4,185,840	4,439,520	5,381,540	5,453,860	5,380,810	
		雑誌・雑紙	9,163,990	9,207,620	9,141,730	8,504,510	8,064,790	
		紙パック	115,320	112,440	121,750	123,960	232,720	
		空きびん	3,884,490	3,694,800	3,927,120	3,828,710	3,657,570	
		スチール缶	672,600	670,910	692,220	669,115	588,260	
		アルミ缶	626,170	646,205	751,055	739,705	758,550	
		古着・古布	2,463,530	2,621,810	2,693,220	2,838,500	2,719,490	
		ペットボトル	1,696,310	1,660,690	1,739,670	1,847,230	1,903,420	
		容器包装プラスチック	5,146,730	5,227,960	5,181,140	5,241,640	5,248,410	
		木の枝	17,670	24,940	980	33,620	677,890	
		生ごみ	—	—	—	—	4,290	
		小計	29,424,470	29,745,995	30,994,925	30,713,920	30,382,330	
		持込	拠点資源物	古紙	435,650	403,540	479,740	473,620
はがき	(2,730)			(2,930)	(2,510)	—	—	
上履き・靴	280			330	1,220	2,330	1,540	
小計	435,930			403,870	480,960	475,950	466,160	
計	29,860,400	30,149,865	31,475,885	31,189,870	30,848,490			
⑭ その他中間処理後の資源化量	焼却施設	戸吹清掃工場	焼却鉄	367,050	424,380	475,870	444,560	328,570
			焼却焼却灰	6,500,400	7,103,781	7,667,060	7,393,390	5,572,450
			家具等	—	—	—	477	1,187
			おむつ	—	—	—	510	—
		小計	6,867,450	7,528,161	8,142,930	7,838,937	5,902,207	
		館クリーンセンター	焼却鉄	—	—	—	—	170,300
			焼却アルミ	—	—	—	—	23,750
			焼却焼却灰	—	—	—	—	1,850,830
			処理困難鉄	—	—	—	—	7,000
		小計	—	—	—	—	2,051,880	
		北野清掃工場	焼却鉄	53,390	55,150	49,920	42,090	24,110
			焼却焼却灰	2,598,790	2,732,167	2,443,270	2,369,210	944,720
		小計	2,652,180	2,787,317	2,493,190	2,411,300	968,830	
		多摩清掃工場	焼却鉄	167,670	173,500	184,410	138,840	113,800
焼却非磁性物/落塵灰等(R1~)	42,040		76,900	271,320	345,990	287,770		
焼却焼却灰	3,300,980		3,170,090	2,955,570	2,580,110	2,034,110		
小計	3,510,690	3,420,490	3,411,300	3,064,940	2,435,680			
不燃・粗大処理施設	戸吹不燃物処理センター	鉄	1,195,610	1,205,250	1,389,230	1,278,400	1,009,780	
		非鉄金属	297,200	295,270	303,660	272,150	229,870	
		自転車	144,270	148,870	175,020	149,120	122,420	
		小型家電	162,480	157,174	205,476	174,010	150,120	
		基板等	4,050	2,090	2,510	2,840	2,880	
		モーター	—	—	2,040	0	0	
		スプレー缶等	132,800	132,600	139,530	140,980	142,120	
		雑線	44,550	39,470	62,970	45,400	43,810	
		ガラス陶磁器	124,760	102,290	98,660	75,380	65,630	
		傘等	77,370	88,810	79,060	75,660	62,240	
		ゴルフクラブ	—	4,270	8,130	6,050	5,130	
		エレキギター等	—	—	530	630	0	
		フロン回収品	5,690	8,190	10,540	9,890	0	
		不燃残渣	44,320	32,807	47,806	35,910	39,390	
家具等	2,896	—	—	289	715			
布団・絨毯、羽毛布団	69,720	67,750	46,470	44,250	28,210			
乾電池・蛍光管	168,830	81,564	86,591	75,234	76,816			
薬品(特定)	—	—	—	—	1			
薬品	—	—	—	—	11			
石綿含有廃棄物	—	—	—	—	1,460			
その他	53,520	32,580	40,330	38,670	42,860			
小計	2,528,066	2,398,985	2,698,553	2,424,863	2,023,463			
多摩清掃工場不燃・粗大処理施設	鉄	447,430	411,230	450,660	414,820	464,600		
	非鉄金属	34,340	30,200	31,690	27,480	32,420		
	自転車	3,310	5,350	4,300	3,500	26,460		
	基板等	250	0	1,840	0	2,470		
	自転車破砕物等	7,490	3,870	4,980	4,600	670		
	フロン回収品	2,320	2,320	2,660	2,450	0		
	乾電池・蛍光管	37,780	34,260	40,030	30,630	30,320		
	その他	1,010	620	270	40	1,500		
小計	533,930	487,850	536,430	483,520	558,440			
資源化施設	プラスチック資源化センター	ペットボトル	(1,696,310)	(1,660,690)	(1,739,670)	(1,847,230)	(1,903,420)	
		容器包装プラスチック	(5,146,730)	(5,227,960)	(5,181,140)	(5,241,640)	(5,248,410)	
		容プラ・ペット残渣	1,760	—	—	—	—	
		小計	1,760	—	—	—	—	
計	(6,844,800)	(6,888,650)	(6,920,810)	(7,088,870)	(7,151,830)			
資源化量	⑬+⑭	16,094,076	16,622,803	17,282,403	16,223,560	13,940,500		
資源集回収量	⑮+⑯	45,954,476	46,772,668	48,758,288	47,413,430	44,788,990		
総資源化量	⑮+⑯	7,300,684	6,925,947	5,960,881	5,701,983	5,646,635		
総資源化量	⑮+⑯	53,255,160	53,698,615	54,719,169	53,115,413	50,435,625		

※上表とは別に、令和元年東日本台風で発生した市内の災害廃棄物(災害等廃棄物処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったもの)のうち、令和元年度(2019年度)は80,221kg、令和2年度(2020年度)は97,870kgを資源化している。

※多摩清掃工場

非磁性物/落塵灰等(R1~):平成30年度(2018年度)までは非磁性物のみ、令和元年度(2019年度)以降は非磁性物、落塵灰

※戸吹不燃物処理センター

鉄:処理困難鉄・処理磁性、非鉄金属:アルミ等・選別金属、基板等:小型家電由来の電子回路基板・携帯電話、スプレー缶等:スプレー缶・ライター・炭酸ガスボンベ、その他:コンクリートブロック・バッテリー・バイクなど・不法投棄ごみ等からの資源物

※多摩清掃工場不燃・粗大処理施設

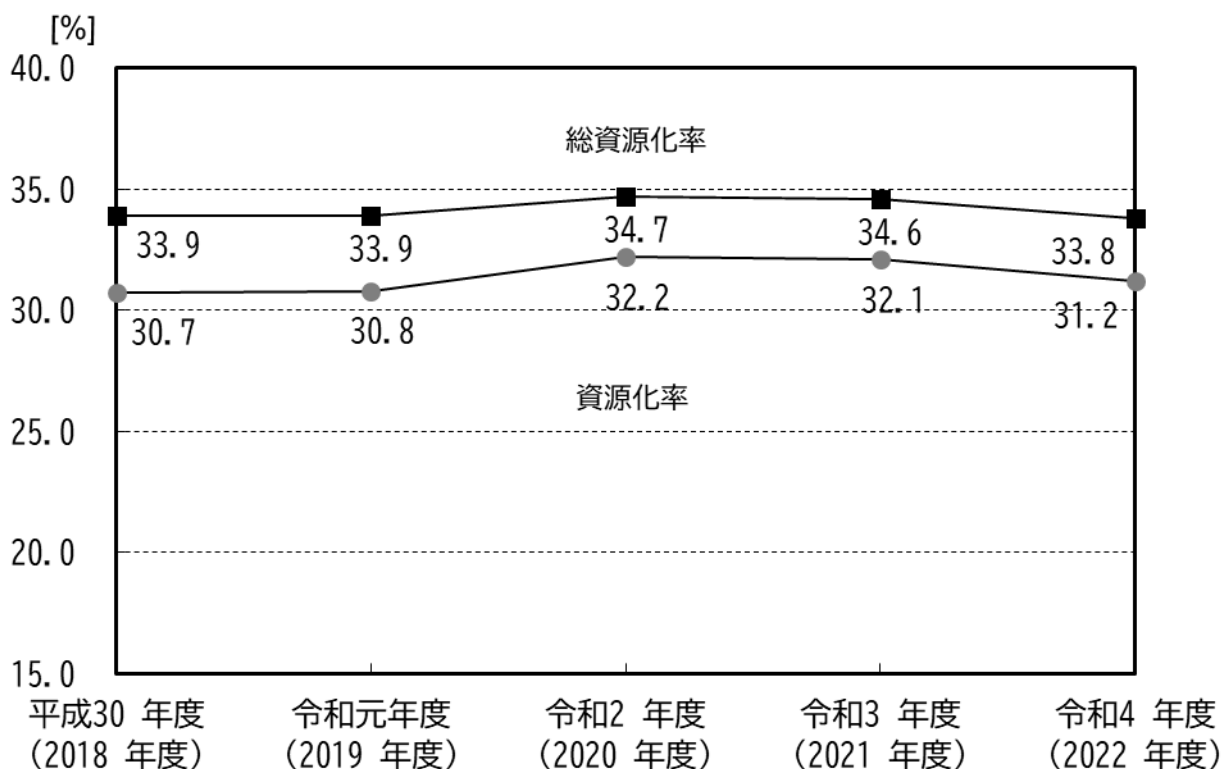
鉄:鉄類(処理後のスプレー缶分も含む)、非鉄金属:アルミ類(処理後のスプレー缶分も含む)・銅管、基板等:小型家電由来の電子回路基板・携帯電話(R2は小型家電として搬出)、自転車破砕物等:自転車破砕物・羽毛布団・CD・DVD、その他:バッテリー・消火器など・不法投棄ごみ等からの資源物

カ 収集量・持込量と資源化量

単位 [t]

区 分	平成29 年度 (2017 年度)	平成30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2 年度 (2020 年度)	令和3 年度 (2021 年度)	令和4 年度 (2022 年度)
A収集ごみ量 ②+③+④+⑤+⑦+⑧	91,209	90,636	91,328	93,484	90,638	87,443
B持込ごみ量 ⑨+⑩+⑪	29,353	27,680	28,601	24,649	24,171	23,644
C資源物回収量(収集・持込) ⑥+⑫	31,618	31,369	31,783	33,440	33,059	32,510
D資源物資源化量(収集・持込) ⑬	29,967	29,860	30,150	31,476	31,189	30,849
Eその他中間処理後の資源化量 ⑭	16,511	16,094	16,623	17,282	16,224	13,940
F資源集団回収量 ⑯	7,615	7,301	6,926	5,961	5,702	5,647
Gごみ量 A+B+C	152,180	149,685	151,712	151,573	147,868	143,597
H総ごみ量 A+B+C+F	159,795	156,986	158,638	157,534	153,570	149,244
I資源化量 D+E	46,478	45,954	46,773	48,758	47,413	44,789
J総資源化量 D+E+F	54,093	53,255	53,699	54,719	53,115	50,436

キ 総資源化率及び資源化率の推移



※総資源化率及び資源化率の算出方法

$$\text{総資源化率} [\%] = \frac{\text{総資源化量 J}}{\text{総ごみ量 H}} = \frac{\text{資源物資源化量 D} + \text{その他中間処理後の資源化量 E} + \text{資源集団回収量 F}}{\text{収集ごみ量 A} + \text{持込ごみ量 B} + \text{資源物回収量 C} + \text{資源集団回収量 F}}$$

$$\text{資源化率} [\%] = \frac{\text{資源化量 I}}{\text{ごみ量 G}} = \frac{\text{資源物資源化量 D} + \text{その他中間処理後の資源化量 E}}{\text{収集ごみ量 A} + \text{持込ごみ量 B} + \text{資源物回収量 C}}$$

(2) 各種データ

ア 収集量・持込量の施設別搬入実績（令和4年度）

単位 [t]

区 分	搬 入 先								計	
	焼 却 施 設				不燃・粗大処理施設		資 源 化 施 設			
	戸吹清掃工	館クリーンセンター	北野清掃工	多摩清掃工	戸吹不燃物処センター	多摩清掃工	プラスチック資源化センター	資源物選別施設		
収 集	可燃ごみ	30,295	25,064	7,283	17,859					80,501
	不燃ごみ					2,795	871			3,666
	粗大ごみ(可燃)	1,010	64							1,074
	粗大ごみ(不燃)		32			927	797			1,756
	有害ごみ					300	58			358
	資源物							8,511	23,533	32,044
	不法投棄ごみ(可燃)	2								2
	不法投棄ごみ(不燃)					4	1			5
	側溝清掃ごみ	67	4	10						81
持 込	可燃ごみ	18,073	3,500	46	1,492					23,111
	不燃ごみ		36			252	245			533
	拠点資源物								466	466
計	49,447	28,700	7,339	19,351	4,278	1,972	8,511	23,999	143,597	

イ 施設別総搬入実績（令和4年度）

単位 [t]

区 分	搬 入 先								計
	焼 却 施 設				不燃・粗大処理施設		資 源 化 施 設		
	戸吹清掃工	館クリーンセンター	北野清掃工	多摩清掃工	戸吹不燃物処センター	多摩清掃工	プラスチック資源化センター	資源物選別施設	
収集・持込ごみ	49,447	28,700	7,339	19,351	4,278	1,972	8,511	23,999	143,597
選別物	3,274	5		1,414	98				4,791
計	52,721	28,705	7,339	20,765	4,376	1,972	8,511	23,999	148,388

ウ 焼却施設の実績（令和4年度）

単位 [t]

区 分		戸吹清掃工場	館クリーン センター	北野清掃工場	多摩清掃工場	計	
稼働日数 [日]		337	261	128	330	—	
搬入量		52,721	28,705	7,339	20,765	109,530	
焼却	焼却灰	エコセメント	3,439	1,851	945	1,964	8,199
		熔融固化物等	2,132	—	—	70	2,202
	金属分	329	194	24	402	949	
埋立		—	—	—	—	—	
処理困難鉄・家具等		1	7	—	—	8	
その他		—	30	—	—	30	
搬出量		5,901	2,082	969	2,436	11,388	
うち資源化量		5,901	2,052	969	2,436	11,358	

※焼却灰は全量資源化されている。

※その他は、当該施設で焼却や売払い等をせずに他の施設へ転送したものの。

※資源化量には、その他が他の施設で資源化される量を含まない。

エ 不燃・粗大処理施設の実績（令和4年度）

単位 [t]

区 分	戸吹不燃物 処理センター	多摩清掃工場	計
稼働日数 [日]	222	198	—
搬入量	4,376	1,972	6,348
有価物	1,595	528	2,123
非有価物 (乾電池・蛍光管委託処理)	526 (174)	31 (31)	557 (205)
埋立	—	—	—
可燃性	1,933	1,414	3,347
搬出量	4,054	1,973	6,027
うち資源化量	2,023	559	2,582

※（ ）は内数を表す。

※搬入量と搬出量は、蒸発や一時保管等の理由で一致しない場合がある。

※可燃性は戸吹清掃工場及び多摩清掃工場焼却処理する。

※資源化量には、搬出した可燃性が焼却処理後に資源化される量を含まない。

※資源化量に粗大再生品、乾電池・蛍光管の資源化された量を含む。

オ プラスチック資源化センターの実績（令和4年度）

単位 [t]

区 分	容器包装 プラスチック	ペットボトル	計
稼働日数 [日]	258	258	—
搬入量	6,284	2,227	8,511
再商品化	5,248	1,904	7,152
可燃性	—	—	1,290
不燃性	—	—	4
搬出量	—	—	8,446
うち資源化量	5,248	1,904	7,152

※搬入量と搬出量は、蒸発や一時保管等の理由で一致しない場合がある。

※可燃性と不燃性は合わせて搬出しているため合計値のみを記載する。

※可燃性は戸吹清掃工場で焼却処理する。

※不燃性は戸吹不燃物処理センターで選別処理する。

※資源化量には、戸吹清掃工場と戸吹不燃物処理センターで処理され資源化される量を含まない。

カ ニツ塚最終処分場・エコセメント化施設年度別実績

区 分		平成30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2 年度 (2020 年度)	令和3 年度 (2021 年度)	令和4 年度 (2022 年度)
不 燃 残 渣	埋立重量 [t]	—	—	—	—	—
	埋立容量 [m ³]	—	—	—	—	—
	搬入配分量 [m ³]	103	83	0	0	0
	搬入配分貢献量 [m ³]	103	83	0	0	0
焼 却 残 渣	埋立重量 [t]	—	—	—	—	—
	埋立容量 [m ³]	—	—	—	—	—
	エコセメント化施設 搬入量 [t]	12,244	12,841	12,668	11,234	8,199
	搬入配分量 [t]	11,178	11,177	11,076	10,980	10,881
	搬入配分貢献量 [t]	-1,066	-1,664	-1,592	-254	2,682

※平成7年(1995年)3月から平成10年(1998年)4月までは谷戸沢処分場へ、それ以降はニツ塚処分場へ搬入している。

※搬入配分量とは東京たま広域資源循環組合が各組織団体に対して年度ごとに設定している廃棄物搬入量の目標値のことをいう。

※搬入配分貢献量とは搬入配分量から搬入実績量を差し引いたものをいう。

※令和2年度(2020年度)及び令和3年度(2021年度)の「エコセメント化施設搬入量」に新型コロナウイルス宿泊療養施設各2tは含まない。したがって本市のエコセメント化量の総量は令和2年度(2020年度):12,670t、令和3年度(2021年度):11,236tとなる。

※上記とは別に、令和元年東日本台風で発生した広域支援ごみの焼却灰をエコセメント化施設に搬入している。

令和元年度(2019年度):宮城県大崎市36t

令和2年度(2020年度):宮城県大崎市88t

キ 最終処分場搬入実績累積量

谷戸沢処分場搬入実績累積量 (平成6年度(1994年度)～平成10年度(1998年度))	68,926 m ³
ニツ塚処分場搬入実績累積量 (平成9年度(1997年度)～令和4年度(2022年度))	182,575 m ³
エコセメント化施設搬入実績累積量 (平成18年度(2006年度)～令和4年度(2022年度))	192,293 t

※令和2年度(2020年度)及び令和3年度(2021年度)の「エコセメント化施設搬入量」に新型コロナウイルス宿泊療養施設各2tは含まない。したがって本市のエコセメント化施設搬入実績累積量の総量は192,297tとなる。